

## 2023年度第1回函館競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 駒ヶ岳特別

駒ヶ岳（こまがたけ）は、森町・鹿部町・七飯町にまたがる標高 1131mの山。大沼国定公園に位置し、南麓に大沼・小沼・蓴菜（じゅんさい）沼などの堰止め湖、南東麓には鹿部などの温泉地がある。

#### ○ 松前特別

松前（まつまえ）は、北海道南西端にある半島、また同半島にある町。江戸時代には、最後の日本式城郭として築城された福山城（松前城）を中心に、日本最北の城下町として栄えた。北海道の郷土料理である松前漬けや、松前公園の桜が有名。

#### ○ 函館日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同紙の北海道版を発行している、北海道日刊スポーツ新聞社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第2日>

#### ○ 遊楽部特別

遊楽部（ゆうらっぷ）は、北海道南西部、八雲町の地名。名は、アイヌ語の「ユー・ラブ（温泉の流れる）」に由来する。遊楽部岳や遊楽部川などがあり、冬には国の天然記念物のオオワシやオジロワシが数多く飛来する。

#### ○ 津軽海峡特別

津軽海峡（つがるかいきょう）は、本州と北海道の間の海峡。津軽暖流が西から東へ流れている。海底下約 100mの地中には、全長 53.85km（海底部 23.3km）の青函トンネルが通っている。

#### ○ サマースプリントシリーズ函館スプリントステークス（GⅢ）

全 6 戦で実施されるサマースプリントシリーズの第 1 戦。

本競走は、1994 年に『札幌スプリントステークス』として創設された重賞競走。札幌と函館の開催日割の変更に伴い、1997 年より函館競馬場で実施されるようになり、レース名も現在の名称に変更された。

## <第3日>

### ○ 下北半島特別

下北半島（しもきたはんとう）は、青森県北東部、津軽海峡に突き出した、斧の形の半島。西に張り出す半島の主部には、日本三大霊山のひとつに数えられる恐山がある。恐山のカルデラを中心とする一帯は、下北半島国定公園に属する。

### ○ 奥尻特別

奥尻（おくしり）は、北海道渡島半島の西方にある面積約 143 km<sup>2</sup>の島。名は、アイヌ語の「イク・シリ（向こうの島）」に由来する。豊富な水産資源に恵まれ「夢の島」「宝の島」と呼ばれてきた。また、オホーツク文化の南下を示す青苗砂丘遺跡をはじめ、縄文時代早期から擦文時代にかけての遺跡や遺物が発見されている。

### ○ STV杯

STV は、札幌市に本社を置く札幌テレビ放送の略称。テレビは 1959 年開局で、NNN（日本テレビ）系列、ラジオは 1962 年開局で NRN（文化放送・ニッポン放送）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第4日>

### ○ 八雲特別

八雲（やくも）は、北海道南西部にある、日本で唯一太平洋と日本海の両方に面している町。遊楽部川下流の八雲平野は北海道の酪農先進地域である。また、北海道を代表する土産品「木彫りの熊」発祥の地でもある。

### ○ 檜山特別

檜山（ひやま）は、北海道南西部の振興局。離島の奥尻町を含む全 7 町で構成され、渡島半島の日本海沿いに位置する。振興局所在地である江差町は、かつてニシン漁業が盛んで、特に江戸後期から明治にかけての繁栄は、「江差の五月は江戸にもない」と謳われた。

### ○ UHB杯

UHB は、札幌市に本社を置く北海道文化放送の略称。1972 年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第5日>

### ○ 恵山特別

恵山（えさん）は、函館市東部、渡島半島南東端にある標高 618m の山。太平洋に突き出すように位置する活火山で、現在も噴気活動が見られる。名は、アイヌ語の「イエサン（火を吹き溶岩が流れ落ちる）」に由来するという説がある。

### ○ 竜飛崎特別

竜飛崎（たつびざき）は、青森県津軽半島北端、津軽海峡に突出する岬。対岸にある北海道の白神岬と青函トンネルによって結ばれている。

### ○ 青函ステークス

青函（せいかん）は、青森市の「青」と函館市の「函」の合成名称。両市を結ぶ交通機関などに冠せられる。この代表である青函トンネルは、津軽海峡の海底を貫いて、本州と北海道を鉄道で結んでいる。

## <第6日>

### ○ 北海ハンデキャップ

北海（ほっかい）は、日本列島北方の海域を指す呼び名。1869年に、かつての五畿七道である東海道や南海道に倣う形で、蝦夷を北海道と改称した。

### ○ HTB杯

HTB は、札幌市に本社を置く北海道テレビ放送の略称。1968年開局で、ANN（テレビ朝日）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### ○ 大沼ステークス（L）

大沼（おおぬま）は、北海道南西部、七飯（ななえ）町にある駒ヶ岳の火山噴火でできた堰止め湖。周辺には小沼、蓴菜（じゅんさい）沼があり、大沼国定公園に含まれる。2012年には、道南で初めてラムサール条約登録湿地に指定された。